

## 第24回教育相談全国集会

11月17日・18日、教育相談全国集会在東京で開催され、高教組から2人が参加しました。

日本教育会館が今年40周年の節目を迎えた会場に、全国から50人の参加で開催されました。講演は、臨床心理士、原宿カウンセリングセンターの信田所長より「親子関係を考える」と題して、カウンセリングセンターへの来談者クライアントについて話されデフォルトとしての知識が重要であり、またこのような全国集会参加によって少しずつソフィスティケートされたカウンセリングが出来ればと思った。



分科会では、参加者は少人数で、各自の自己紹介やそれぞれの教育相談室についての紹介、実際の相談事例を挙げながら充実した話し合いとなりました。

一関工業高校分会 猿舘 正弘

教育相談全国集会に参加する機会をいただいたことに感謝申し上げます。全国の教職員の他に、自治体の相談員の方々と交流することができました。

初日は原宿カウンセリングセンター、信田所長の講演「親子関係を考える」、2日目は4つの分科会でいじめ、不登校、特別支援の対応、教育相談のスキルアップに関するディスカッションでした。講演会で印象的だったのは今後、家庭の運営というものを意識して



いかないと今までのような家庭は形成できなくなるのではないかとということでした。時代とともに変貌する社会の影響を一番受けるのは子どもであるということを感じたのと同時に、家庭内での問題に学校や外部機関はどこまで関わるができるのかという疑問が残りました。

水沢高校分会 荒田 さと